

I	1		2				
	② ク	⑦ オ	A ④	B ⑤	C ⑪	D ⑩	E ①
	3			4			
	A ⑨	B ③	C ⑧	A イ	B エ	C ウ	
	5						
	(1) ウ	(2) イ					

Ⅱ	1				2	3			4
	① イ	② ウ	③ ア	④ エ	エ	B ウ	C ア	F イ	エ

Ⅲ

1	2	3	4	5	6	7	8
イ	イ	イ	イ	ウ	イ	イ	ウ
9							
私	は	賛	成	で	す	。	2
0	2	5	年	の	万	博	で
は	「	約	2	.	9	兆	円
の	経	済	効	果	」	が	見
込	ま	れ	て	お	り	、	大
阪	や	日	本	の	経	済	を
大	き	く	後	押	し	す	る
と	期	待	さ	れ	ま	す	。
ま	た	、	再	生	可	能	エ
ネ	ル	ギ	ー	や	E	V	バ
ス	の	導	入	で	「	温	室
効	果	ガ	ス	排	出	ゼ	ロ
」	も	目	指	し	て	お	り
、	国	際	社	会	に	日	本
の	先	進	的	な	取	り	組
み	を	示	す	機	会	に	な
る	か	ら	で	す	。		

100

150

Ⅳ	1	2	3	4	5	
	ウ	ウ	ア	ア	ア	
6						
若者にも政治に関心を持ち、社会づくりに参						
加してほしいから。						
					30	

大問	中間	小問	世田谷	中野	八王子	明治
I	1	②	1	1	1	1
I	1	⑦	1	1	1	1
I	2	A	1	1	1	2
I	2	B	1	1	1	2
I	2	C	1	1	1	2
I	2	D	1	1	1	2
I	2	E	1	1	1	2
I	3	A	1	1	1	2
I	3	B	1	1	1	2
I	3	C	1	1	1	2
I	4	A	1	2	1	2
I	4	B	1	2	1	2
I	4	C	1	2	1	2
I	5	(1)	1	1	1	1
I	5	(2)	1	1	1	1
II	1	①	1	1	1	2
II	1	②	1	1	1	2
II	1	③	1	1	1	2
II	1	④	1	1	1	2
II	2		1	1	1	1
II	3	B	1	1	1	2
II	3	D	1	1	1	2
II	3	F	1	1	1	2
II	4		2	2	2	2
III	1		2	1	2	2
III	2		1	1	1	1
III	3		1	1	1	1
III	4		2	1	2	2
III	5		2	2	3	2
III	6		1	1	1	2
III	7		2	2	2	2
III	8		1	1	1	2
III	9	内容①	1	1	1	1
III	9	内容②	1	1	1	3
III	9	内容③	1	1	1	2

大問	中間	小問	世田谷	中野	八王子	明治
III	9	表記	1	1	1	1
IV	1		2	1	1	2
IV	2		2	1	1	2
IV	3		1	1	1	1
IV	4		1	1	1	1
IV	5		1	1	1	1
IV	6	内容	1	2	2	3
IV	6	表記	1	1	1	1
総計			50	50	50	75

I 日本の川、気候

出題形式は、明治大学付属明治中学校を参考にしていますが、その他の3校も「地形図」の読み取りや、日本の有名な「地形（半島、^{わん}湾、島）」の名前や、各地域の気候、各地域でさかんな産業（例：漁業）など幅広い知識を必要とされる出題になっていますので、このタイミングで知識の確認をしておきましょう。

1 A2 置き換え 比較

アの川内川は、鹿児島県薩摩川内市^{さつ ま}市を通して東シナ海にそそぐ川で、流域が広く水力発電や農業用水として利用されている川です。イの揖斐川^{いび}は岐阜県西部を流れて伊勢湾^{い せ}にそそぐ木曾三川の一つで、昔からたびたび洪水を起こし、江戸時代の宝暦治水^{ほうれき}で有名な川です。ウの最上川は奥羽山脈を源流とし、南から北へと流れ下る一級河川で、日本海に注ぎます。急流で知られ、「日本三大急流」の一つでもあります。江戸期には舟^{ふね}による物資輸送がさかんに行われたほか、現在も観光舟下りが観光資源として生かされています。エの信濃川^{しなの}は長野県の山間部を「千曲川^{ちくま}」として流れ、新潟県に入ると「信濃川」と呼ばれて日本海へそそぐ、日本で最も長い川（全長367km）です。オの木曾川^{きそ}は長野県を水源とし、岐阜・愛知・三重を通して伊勢湾に流れ込む、豊富な水量で水力発電や農業・工業用水にも使われる重要な川です。カの大淀川^{おおい}は宮崎県の南部を流れ、宮崎市の中心部を通して日向灘^{ひゅうがなだ}にそそぐ川です。キの富士川^{ふじ}は山梨県で笛吹川^{ふえふき}と釜無川^{かまなし}が合流してでき、静岡県を南下して駿河湾^{するが わん}にそそぐ、日本三大急流の一つとして知られる川です。クの雄物川^{おもの}は、秋田県南部を流れ出し、県を縦断^{じゅうたん}して日本海にそそぐ川です。秋田平野の農業を支える重要な水源となっています。

2 B1 視点を変える 置き換え 関係付け

Aは阿賀野川^{あ が の}です。「福島県の山間部をへて日本海に注ぐ一級河川」という流路^{とくちよう}の特徴に加え、「下流の平野部での稲作」から判断できます。阿賀野川は、福島県を源流とし、新潟県を通して日本海に注ぐ川で、流域ではコシヒカリを中心とした稲作がさかんです。Bは利根川です。「流域面積が日本最大」という記述、また、「野菜の栽培^{さいばい}がさかん」「消費地が近い」は関東平野とその大都市（特に東京）をしめしていること。さらに「港と同じ名前の都市」「しょうゆの生産」で、千葉県^{ちやう し}の銚子^{しうし}が浮かび上がり、これらの情報から利根川であると判断できます。Cは筑後川^{ちくご}です。「クリークのある平野」といえば、福岡県・佐賀県に広がる筑後平野が有名です。さらに「有明海沿岸^{かんたう}」「干拓」という言葉からも筑後川であると判断できます。Dは吉野川です。「ため池が多い」「慢性的な水不足^{せいてき}」という点から、水不足に悩まされやすい地域、四国地方であることが想像できます。さらに、北に広がる地域に水を送る用水路とありますがこれも吉野川と判断できるヒントになっています。Eは十勝川です。「じゃがいも・てんさい（ビート）」は北海道の代表的な作物で、「広大な農地」「機械化農業」「牧草地とサイロ」という風景はまさに十勝平野の特徴です。十勝平野を流れる川が十勝川であることから判断することができます。

3 B1 視点を変える 置き換え 関係づけ

①・③・⑧・⑨それぞれの川の河口がある都道府県庁所在地の雨温図を答える問題です。①は十勝川で、雨温図は道庁所在地である札幌市さっぽろで考えます。③は北上川で河口は宮城県いしのまきの石巻市まきにあり、雨温図は県庁所在地である仙台市せんだいで考えます。⑧は紀ノ川で河口は和歌山県にあるので県庁所在地である和歌山市の雨温図を、⑨は江こうの川で河口は島根県にあるので松江市の雨温図で考えます。4つの雨温図の中でDの雨温図は平均気温がほかの雨温図に比べて低いことが読み取れます。ここからDは札幌市であると考えられ、①を解答から外すことができます。次にAを見ると冬の降水量が多く、日本海側の気候をしめしていることが読み取れます。ここから松江市の⑨と考えることができます。残ったBとCですが、平均気温を見比べると、Bの方が低いことが読み取れます。仙台市と和歌山市では仙台市のほうが北にありますので、Bが③、Cが⑧となります。

4 B1 視点を変える 置き換え 関係づけ

それぞれの川の地方・地域を抑えたうえで、グラフから読み取れる情報と日本の各地方・地域の特色を照らし合わせて答える問題です。まずDが乳用牛わりあいの割合が高いことから酪農らくのうがさかんな北海道地方と考えることができ、選択肢アを解答から外すことができます。Bは肉用牛の割合が高いことから九州地方であることが推測でき、選択肢エが選べます。残ったAとCですが、四国は野菜の生産の割合が高いことからCは選択肢ウとなり、残った選択肢イがAの近畿地方きんきとなります。

5

(1) A2 置き換え 分類

地図記号△は針葉樹林になります。針葉樹ではない木の種類は、ウの「なら」になります。地形図の針葉樹は、「浜松市」という地名が読み取れますので、①～⑫の中で静岡県を通っている⑥、天竜川てんりゅうの流域の地形図であることがわかります。天竜川の流域では人工の三大美林の一つである「天竜すぎ」が有名です。

(2) B1 特徴的な部分に注目する 関係づけ 比較

ダムに隣接りんせつした発電所は、多くの場合水力発電所であると考えられます。ダムでの水力発電は、高いところにためた水を下に流してタービンを回し、その力で発電機を動かして電気をつくり、送電線を通じて家庭や工場に届けるしくみです。

Ⅱ 日本の貿易と運輸

4校いずれも資料を読み取る問題が多く出題されます。そこでⅡでは、資料を読み取り、知識をあてはめたり、思考して解く問題を出題しました。間違ってしまった問題は、どの知識が足りなかったのか、どのように考えればよかったのかを確認して、必ず復習しておきましょう。

1 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

日本の貿易の大きな流れを抑えておくことで答えが導き出せる問題です。1930年代からの日本の貿易は原料を輸入し、製品を輸出するという形が基本となっています。1930年代はせんい製品が輸出の主力製品でしたが、現在では機械類が輸出の中心となっています。その点を抑えておくことで①～④の解答を考えやすくなります。

2 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

日本は1990年代のバブル崩壊から、成長が停滞しており、世界輸出にしめる割合も徐々に低下しています。アが中華人民共和国（中国）、イがアメリカ合衆国、ウがドイツです。

3 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

表と地図を見てB、C、Fの貿易港（空港も含む）の位置を答える問題です。Cは輸出入金額が最も多いことから成田国際空港と判断できます。次にBですが、自動車の輸出割合が高いことから、名古屋港と横浜港のいずれかであると考えられます。そこで金額に注目するとEのほうが高いことがわかります。横浜港と名古屋港では、輸出金額が高いのは名古屋港ですので、Bは横浜港と判断できます。残った、DとFですが、どちらも衣類や肉類の輸入割合が高いことから人口の多い地域であると考えられます。地図中の港がある都道府県で人口が多いのは東京（東京港）、神奈川（横浜港）、大阪（大阪港）が候補となってきますが、横浜港はBですので、東京と大阪にしばらくこめます。輸出入の合計金額からFの方が高く、このことからFは最も人口が多い地域、東京にある東京港であると判断することができます。したがってDが大阪港です。なお、Aは神戸港となります。

4 B1 視点を変える 抽象化 比較

輸送機関別の貨物輸送量とエネルギー消費の割合のグラフからわかることを正しく読み取っている文章を選ぶ問題です。まとめて読み取ろうとすると難しく感じるがありますが、「輸送量」と「エネルギー消費量」それぞれに着目してみると、正しいことや誤りに気づくことができます。例えばアの「鉄道は輸送量が少ない」という部分はグラフから確認できますが、そのあとの「エネルギー消費量は自動車よりも大きい」は誤りです。このようにグラフごとにわけてとらえることで解答にたどり着きやすくなります。またこの問題の答えはエで、鉄道の輸送量4.4%に対するエネルギー消費の割合は0.5%となっており、輸送量／エネルギー消費量の比率が約9倍と、省エネルギー性が最も高い輸送手段であることがわかります。

Ⅲ 日本の歴史・時事

4校の入試から古代（昔の日本の国づくりなど）から、中世（武士の政治や元との戦いなど）、そして江戸時代（鎖国など）、明治時代以降の日本の変化や世界との関わりまで、幅広い時代のできごとが出題されています。また明治大学付属明治中学校では「社会のルールや人々の暮らしが時代とともにどう変化したか（落とし物に関する決まり）」のように歴史をふまえた資料をもとにした出題もあり、全体として特定の時代に絞る学習ではなく、流れをしっかりと抑えた学習が必要となります。

1 A2 比較

Xは正しく、Yが誤りです。804年派遣では最澄・空海らが留学僧として入唐し、帰国後に天台宗・真言宗が広まりました。また遣唐使の航海ルートは、はじめは朝鮮半島の港を中継港として利用できたこと、陸伝い・島伝いの方が航海技術的に安全だったことから北路が採用されていましたが、新羅との関係が悪化し、安全性が低下したこと、航海技術が発達してきたことなどから南路へと変化していきました。

2 A2 比較

平安時代は貴族文化が花開く一方、荘園を守るために武士が力を伸ばす時代でもありました。Yが誤りです。荘園の増加によって国家財政が圧迫された点は正しいのですが、「租庸調制を復活させた」という部分が誤りとなります。実際には租庸調制の復活は行われず、国司の負担増加や臨時課税、さらには荘園整理令などで対応しようとしたことが抜本的な解決にはいたりませんでした。

3 B1 特徴的な部分に注目する 関係づけ 比較

南蛮貿易の様子をあらわしているのは、Yの「南蛮人渡来図」です。この絵は、16世紀後半（安土桃山時代）に描かれたもので、日本に来航したポルトガル人をはじめとする南蛮人、宣教師、貿易の船（南蛮船）などが描かれています。絵には、キリスト教の宣教師が黒い服を着て人々に教える説く姿や、異国の服を着た南蛮人が港に上陸しようとする姿が描かれており、日本とヨーロッパの交流の様子を視覚的に伝える貴重な資料です。Aは「蒙古襲来絵詞」で、鎌倉時代の元寇＝モンゴル軍が日本に攻めてきたときの様子を描いた絵巻物です。武士たちが戦っている姿がリアルに描かれています。Uは「洛中洛外図」といい、京都の町の様子を上から見たように描いた絵です。16世紀に活躍した絵師・狩野永徳の作品が有名で、当時の町のにぎわいや文化がよくわかります。Eは「鳥獣人物戯画」と呼ばれる、ウサギやカエルなどの動物たちが人間のようにふるまう姿を描いた絵巻です。平安時代の後期～鎌倉時代初期にかけて描かれたとされ、京都の高山寺に伝わるものです。作者ははっきりしておらず、「伝鳥羽僧正筆」とされています。

4 **A2** 比較

Xは正しく、Yが誤りです。江戸幕府はキリスト教の布教を強く警戒し、1639年にポルトガル船を追放していわゆる「鎖国体制」を確立しました。その中でオランダは「宗教を広めません」と約束し、純粋に商売だけをしたので出島での貿易を許されました。布教を禁止しておりますので、出島にも教会は建てられていません。また、オランダ船は長崎・出島に入港した際、世界情勢や貿易情報を記した「オランダ風説書」を江戸幕府に提出しており、これは幕府が海外事情を把握する重要な資料となりました。

5 **A2** 順序立てて筋道をとらえる

明治新政府は中央集権国家をめざし、大名の時代から近代国家へと大改革を続けました。
 廃藩置県（1871）…藩を廃して府県を置き、旧藩主の支配を終わらせました。
 徴兵令（1873）…士族・平民の区別なく満20歳の男子が兵役につくしくみをつくりました。
 自由党結成（1881）…板垣退助らが国会開設を求め、政党を結成しました。
 帝国議会開設（1890）…憲法にもとづく議会が開かれ、近代立憲国家として一步を踏み出しました。
 したがってウが正解です。

6 **A2** 比較

日露戦争後の1905年、アメリカのポーツマスで講和条約が結ばれ、日本は韓国に対する指導権を国際的に認めさせました。アは、そのような事実はなく誤りです。イが正解です。ウは、台湾は1895年の下関条約で清から割譲されており、正しくありません。エの三国干渉は日清戦争後のできごとです。

7 **A2** 順序立てて筋道をとらえる

戦後日本は「占領期の終了」→「朝鮮戦争による特需」→「高度経済成長」という順に発展していきました。年代順としては、最初のエの1946年の日本国憲法公布で、戦後復興のスタートラインとなるできごとです。次にアの1950年の朝鮮戦争開始で、特需景気が高度成長への弾みになりました。イが正解です。1964年は戦後復興の象徴として世界にアピールした年です。最後がウの1972年の沖縄返還です。

8 **A2** 比較

アは二国間クレジット制度（JCM）で、途上国の削減分を日本と共有する仕組みを進めている正しい説明です。イは2019年の大阪サミットで日本が提案した「大阪ブルーオーシャン・ビジョン」を示し、海洋プラスチックごみ削減をめざす正しい説明です。ウが誤りです。日本はすでにパリ協定を批准しています。エは省エネ技術を海外に広げて温室効果ガスを減らす取り組みで、正しい説明です。

9 C1 特徴的な部分に注目する 推論 理由

この問題では、まず「賛成」か「反対」かという自分の立場を明確にすることが大切です。あいまいな表現ではなく、はっきりと意見を示すことで、読み手に説得力のある主張となります。次に、その意見を支えるために、資料の中にある数字や事実をもとに根拠を示すことが求められています。たとえば、賛成の立場なら「経済波及効果約 2.9 兆円」や「温室効果ガス排出実質ゼロの目標」といったデータを活用することで、万博の意義や先進性を強調できます。一方で反対の立場なら、「会場建設費が当初の 1.9 倍」「行かないと答えた人が 87%」といった情報から、税金の使い方や国民の関心の低さを指摘することができます。さらに、文字数の制限がありますので、資料をすべて使う必要はなく、自分の立場に合った情報を 1～2 点選び、理由とつなげて書くことがポイントです。また、明治大学付属明治中学校の出題形式になりますが、明治大学付属八王子中学校の B 方式でも、記述問題も出題される可能性がありますので、記述問題に慣れておきましょう。採点基準は、内容①「賛成」・「反対」が明確になっているか、内容②資料をもとに根拠が書かれているか、内容③論理的に書かれているか、誤字脱字がないかなど表記に誤りがないかをみています。なお、字数制限を守っていない場合は不正解とします。

(反対意見の解答例)

反対です。会場建設費 2,350 億円や公費 3,150 億円の負担が大きい一方、万博を通じた経済波及効果は不確実だと言えます。今までの国際的なわく組みで代えることが十分にでき、財源は国内課題へ回すべきだと考えます。

Ⅳ 公民・時事

歴史とも関連しますが、最近のニュースや話題になっている「時事問題」も出ます。例えば、新しくお札に描かれる人物（渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎）がどんな人だったか、「ふるさと納税」の仕組み、選挙の投票率の傾向などです。「多様性」といった、今の社会でとても大切にされている考え方についても、きちんと理解しておきましょう。

1 A2 比較

X が誤りで、Y は正しいです。予算案も条約の承認案も、衆議院通過後 30 日以内に参議院が議決しなければ衆議院の議決が国会の議決となります（憲法 60 条・61 条）。条約だけ 60 日とする規定はないため X は誤りです。

2 A2 比較

X が誤りで、Y は正しいです。参議院の定数 248 人の内訳は比例代表 100 人・選挙区 148 人となります。また 2016 年の改正で「合区」が導入され、鳥取・島根選挙区と徳島・高知選挙区が誕生し、これは一票の格差を縮小するための措置ですので、Y は正しいものとなります。

3 A2 比較

1994年の制度改革で、1つの選挙区から1人だけ当選する小選挙区制を取り入れました。1位の候補がすべての議席を得るため、少数派の票がむだになりやすいという弱点もあります。イは2位以下が全員落選になるため、死票（議席に結びつかない票）が多くなるという点で実際に起こりやすい現象です。ウは1人だけ当選であることから、みられる可能性を正しく述べています。エは小選挙区制の特徴として正しいです。

4 A2 比較

比例代表制は、政党が得た票の割合に応じて議席を分けるしくみです。日本ではドント方式という計算方法で割り当てを行い、少数派の意見も議席に反映しやすくしています。イは、票の多少に関係なく配分したら比例制ではなくなってしまいます。ウは「個人名しか書けない」としていますが、衆議院の比例は政党名のみ、参議院の比例は個人名も政党名も選べます。エは「死票がまったく出ない」とありますが、^{はすう}端数処理で少しは必ず残ります。

5 A2 具体的 比較

現行憲法は「投票の秘密」を厳格に守ることになっています。投票用紙には候補者名しか書かず、誰がどこに投票したかは絶対にわからないようにしています。アが正解です。個人情報的一切書かせないしくみこそ、秘密投票の要です。イはこの制度があった場合、「投票の秘密」が守られないので、正しくありません。ウは投票内容を公文書として誰でも^{えつらん}閲覧できるようにしたら、秘密が守られません。エは投票用紙に氏名を書く方式（記名投票）で、これは議会の採決では行われますが、公選選挙では^{いけん}違憲になります。

6 B2 視点を変える 推論 理由

この問題では、「なぜ18歳に引き下げられたのか」という理由（背景）を短く説明する力が求められています。キーワードは「社会参加」「責任」「主権者」などです。選挙権を18歳に広げた理由には、18歳は社会の一員としての責任があると考えられているからです。また、「若い世代にも政治への関心を持ってもらい、将来の社会づくりに参加してほしい」という主権者教育のねらいもあります。20字以上30字以内に収めるには、理由を一つにしぼり、言葉を簡潔にまとめることがポイントです。なお、表現が正しくない場合や、誤字脱字がある場合は減点します。なお、字数制限を守っていない場合は不正解とします。